

令和元年度

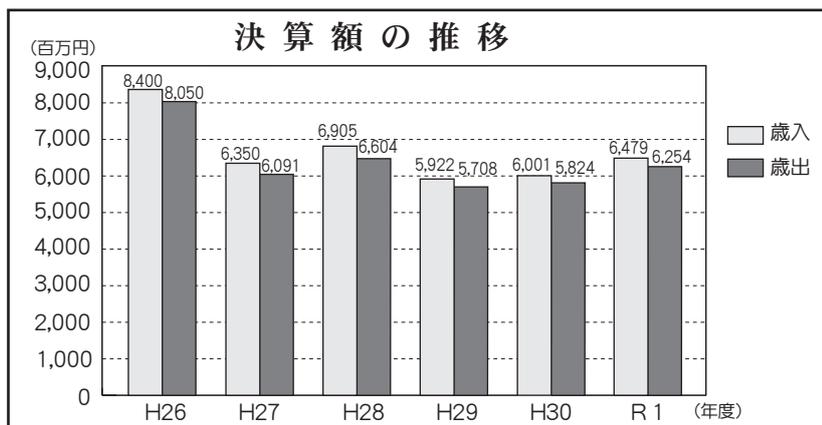
智頭町の決算

(普通会計)

9月定例議会で、令和元年度決算が認定され、前年度に比べ、歳入歳出とも増額の決算となりました。

主な理由としては、新図書館建設事業・林道施設災害復旧事業の実施による事業費及び町債等財源の増が挙げられます。

歳入から歳出を引き、次年度への繰越事業の財源を除いた実質収支は1億5,888万円の黒字となりました。



歳入総額

64億7,885万円

歳入総額は前年度の60億74万円と比べ、4億7,811万円の増となりました。

要因は、新図書館建設事業にかかる町債、林道施設災害復旧事業にかかる国庫支出金の増などです。収入の約8割は、国から交付される地方交付税と国・県支出金、町債などの依存財源です。

歳出総額

62億5,439万円

歳出総額は、前年度の58億2,446万円と比べ、4億2,993万円の増となりました。要因は、新図書館建設事業・林道施設災害復旧事業費、公債費の増などです。

今後、人口減少・少子高齢化が進むなかで、行政サービスの水準を維持しつつ、事業費の圧縮・効率化がより一層求められます。



「ちえの森 ちづ図書館」完成予想図

令和元年度

主要事業

- 林道施設災害復旧事業 2億2,504万円
- 新図書館建設事業 2億85万円
- 地籍調査事業 2億164万円
- 社会資本整備総合交付金事業 1億8,273万円
- 智頭材出荷促進事業 4,171万円
- 移住定住促進事業 4,638万円
- 地域支援推進事業 4,714万円
- 智頭小学校空調増設工事事業 3,414万円
- 智頭中学校空調増設工事事業 3,305万円
- 【地方創生関連事業】
- ちづみちエリアリノベーション事業 975万円
- 森林王国ちづ担い手育成支援事業 705万円